

# 第74回宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会

## 小学校書きぞめ手本について

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

六年

山深み春とも知らぬ松の戸に  
たえだえかかる雪の玉水

山が深いので、春になったと気付かない小屋の松の戸に、とぎれとぎれにかかっている寶石のような雪解けの水よ。

令和3年小学校6年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「文字の大きさ」や「配列」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

五年

遠い国へ  
江戸時代の初め、港を出航したサン・ファン・パウティスタ号は、政宗の志を乗せた船。およそ7年にわたる旅の記録や資料は多くのことを伝えてくれる。

令和3年小学校5年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「文字の形」や「横書きの書き方」に気を付けて書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

四年

どんと祭は、正月かざりを集めてもやす、昔から続く行事。人々のねがいをもせて、けむりが天にのぼって行く。

令和3年小学校4年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「行の中心」や「漢字とかなの大きさ」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

三年

友だちと手をつないで、走りまわりました。はずむ足音。空が、きらきら光りました。

令和3年小学校3年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「文字の形」や「文字の組み立て」に気を付けて書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

二年

「七草がゆ」をたべると、元気にすごせると言われています。

令和3年小学校2年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「文字の形」や「文字の中心」に気を付けて、ていねいに書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、ねんじょうしましょう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

一年

はつ日がのぼる。みんながおめでとう。

令和3年小学校1年書きぞめ手本  
 ◎ねらい、「文字のつらなり」や「ひっしゅん」に気を付けて、ていねいに書きましょう。  
 ◎季末とよくらべて、ねんじょうしましょう。

## 小学校手本作成委員会

昨年変更した罫線入り下敷きに合わせて、硬筆の手本のレイアウトを変更しました。

The image shows two versions of handwriting practice paper side-by-side, connected by a large orange arrow pointing from the left version to the right version. Both papers are titled '宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会' (Miyagi Prefecture Union of Elementary and Junior High School Education Research Association Calligraphy Department) and include instructions: '令和2年 小学校1年書きぞめ手本' (Heisei 2 1st Grade Primary School Writing Sample) and '令和3年 小学校1年書きぞめ手本' (Heisei 3 1st Grade Primary School Writing Sample). The left paper features a vertical line on the left side of the writing area. The right paper features a vertical line on the right side. The handwriting on both papers reads: 'はつ日がのぼる。みんなえがおでおめでとう。' (The sun rises on the eighth day. Everyone is happy and happy.) The right paper has a more modern, clean layout with a different set of icons on the left margin.

そのほかの変更はありません(令和2年→令和3年)

本資料に令和2年の手本が含まれていますが、基準などの変更はありません。

ある金融機関の窓口で書類に記入する際に「令」を  
小学校で習った形「令」で書いたら、明朝体と同じ形で書き直すように言われました。  
そうする必要があったのでしょうか。

銀行 郵便局  
漢字テストの採点  
許容

役所 出生届でも  
明朝体の時代の手書き文字  
活字と手書き文字の違い

伝統的な文化  
文字文化  
活字と手書き文字の違い

許容  
万葉集  
大伴旅人  
大伴家持  
多賀城

## 常用漢字表の字体・字形に関する指針 文化審議会国語分科会報告（平成28年2月29日）

令和

令和

初春の令月にして  
気淑く風和ぎ  
梅は鏡前の粉を披き  
蘭は珮後の香を薫らす

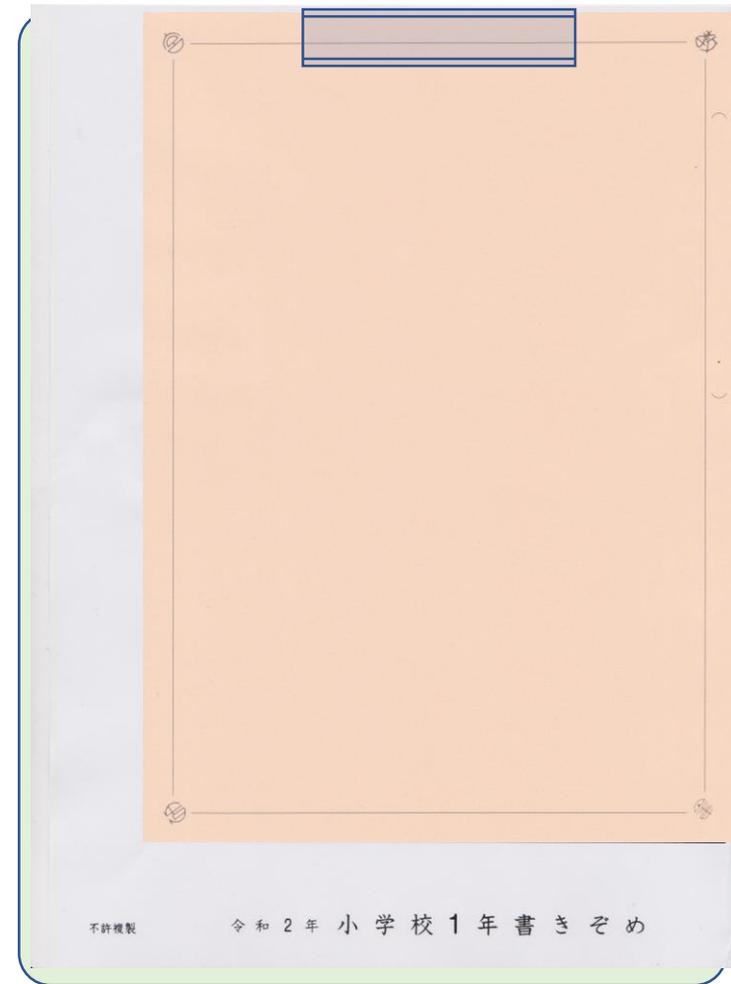
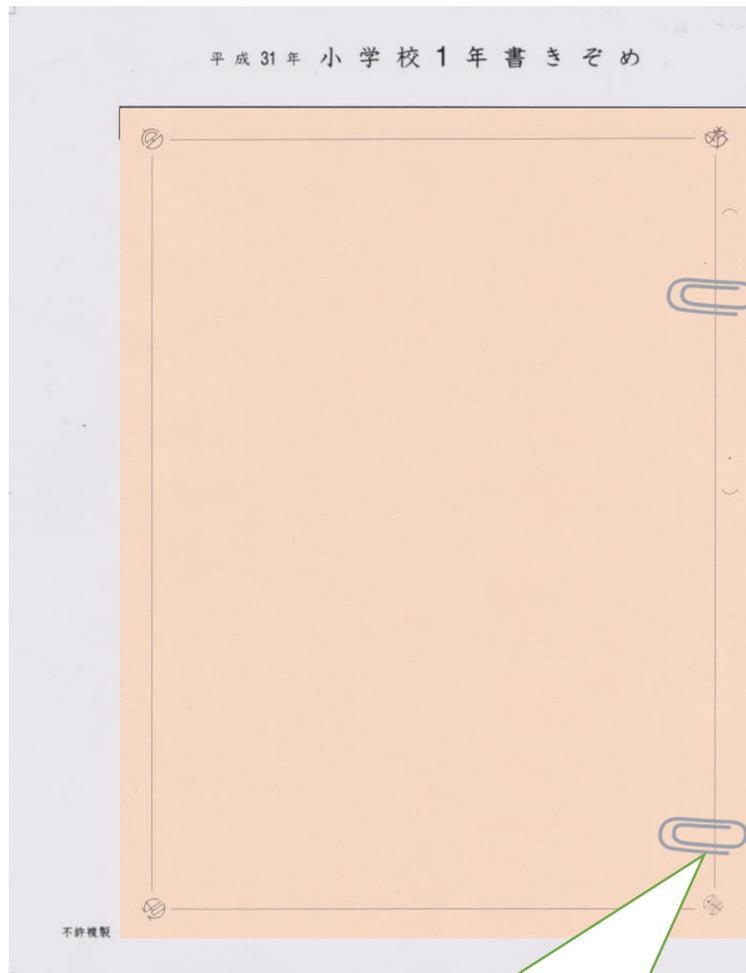
春風

春風

初春の令月にして 気淑く風和ぎ  
梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす  
「万葉集」の梅花の歌より

# 「罫線入り下敷き」の使い方

平成31年手本

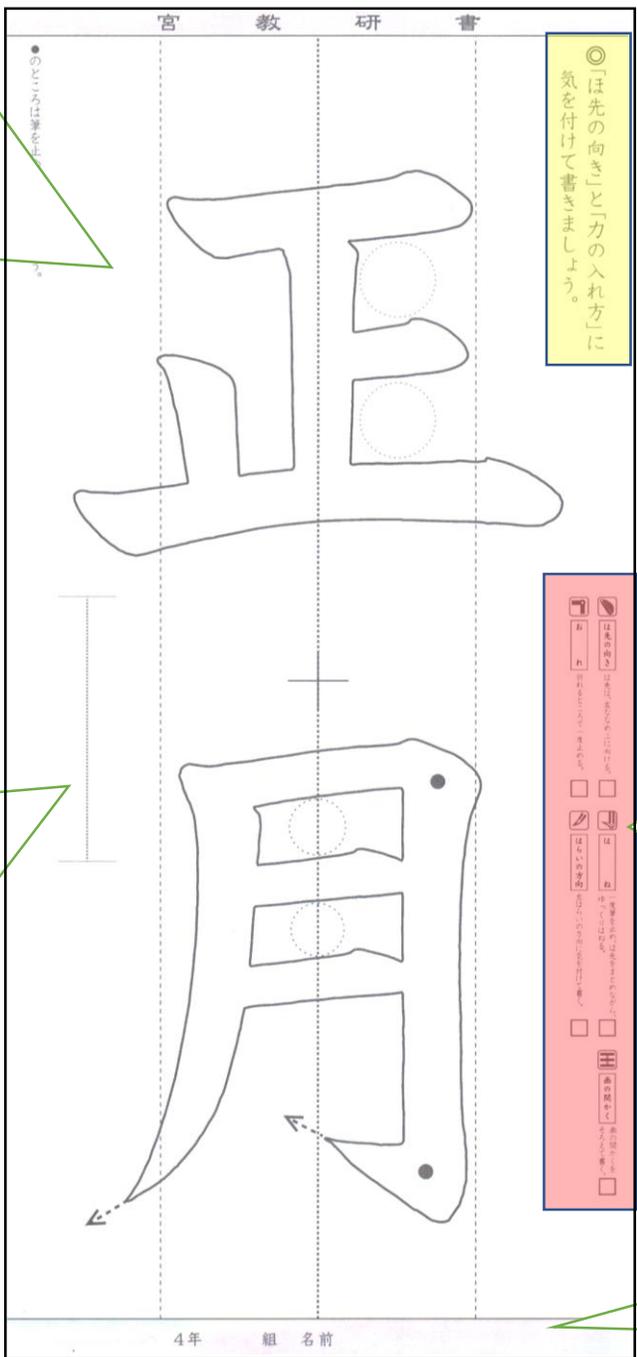
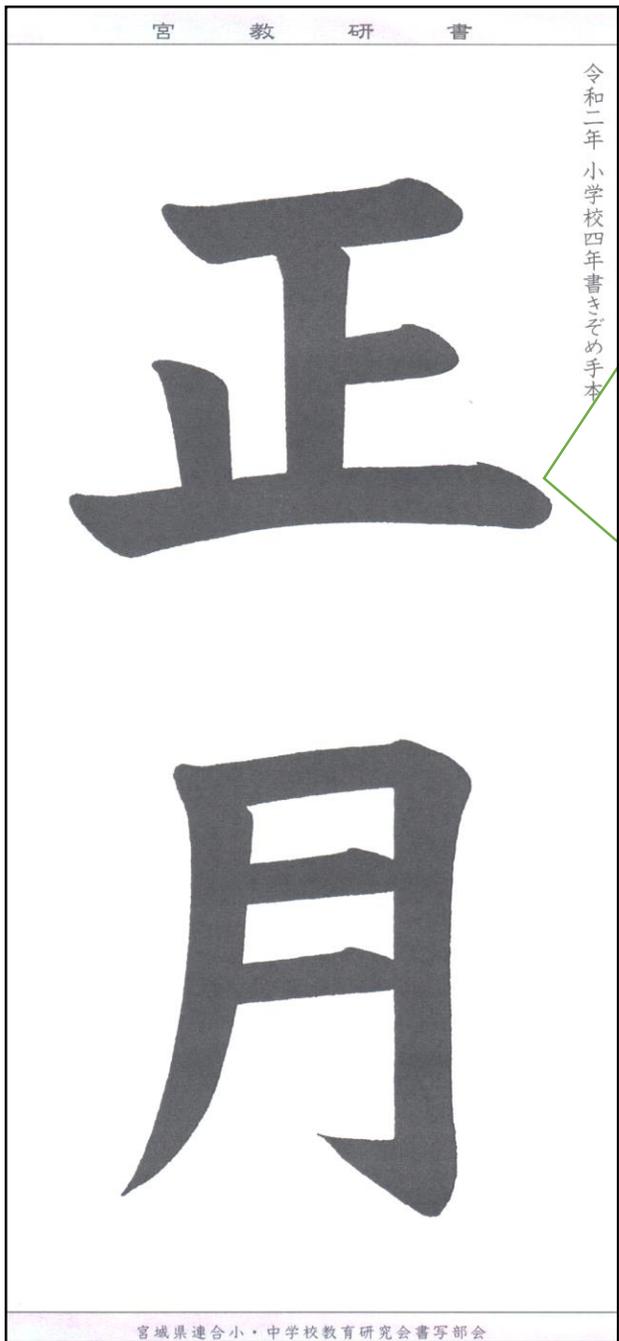


- ①右利きにとってクリップが邪魔になる。
- ②規定用紙をどこに置いたら良いかより分かりやすくする。

# 原寸大手本

写し書きの作品は提出しないこと。

規定用紙と同じサイズの原寸大手本



ねらい

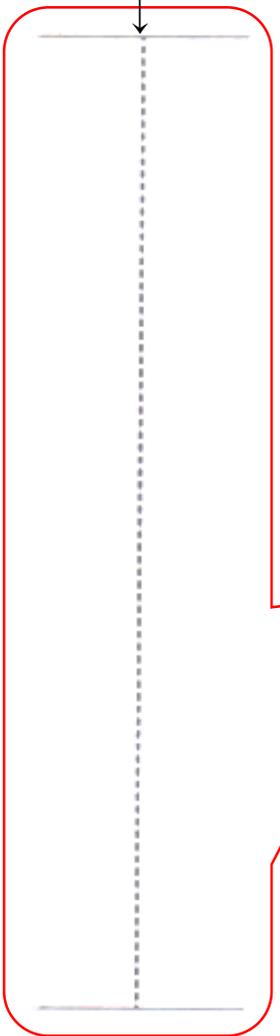
ポイント

氏名記入欄

裏面は籠字と解説

名前の位置の目安

名前の中心線



宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校3年書きぞめ手本

〇ねらい 「文字の形」や「文字の組み立て方」に気を付けて書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不許複製

友だちと手をつないで、  
 走りました。はずむ足音。  
 空が、きらきら光りま  
 した。  
 三年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校2年書きぞめ手本

〇ねらい 「文字の形」や「文字の中心」に気を付けて、ていねいに書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、れんしゅうしましょう。

不許複製

「七草がゆ」をたべると、  
 元気にすごせると言わ  
 れています。  
 二年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校1年書きぞめ手本

〇ねらい 「文字のかたち」と「ひっくん」に気を付けて、ていねいに書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、れんしゅうしましょう。

不許複製

はつ日がのぼる。み  
 んなえがおでおめで  
 とう。

学年	行	平仮名	片仮名	漢字	数字	総字数
1	3 (3)	18 (20)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	19 (21)
2	3 (3)	19 (22)	0 (0)	5 (4)	0 (0)	25 (26)
3	4 (4)	24 (22)	0 (0)	7 (10)	0 (0)	31 (32)
4	4 (4)	34 (27)	0 (0)	11 (15)	0 (0)	45 (42)
5	7 (7)	32 (40)	11 (0)	24 (20)	1 (0)	68 (60)
6	6 (6)	52 (48)	0 (5)	22 (25)	0 (0)	74 (78)

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校6年書きぞめ手本

〇ねらい 「文字の大きさ」や「配列」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不許複製

山深み春とも知らぬ松の戸に  
 たえたえかかる雪の玉水  
 山が深いので、春になったと気付か  
 ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ  
 にかかっている宝石のような雪解け  
 の水よ。  
 六年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校5年書きぞめ手本

〇ねらい 「文字の形」や「横書きの書き方」に気を付けて書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不許複製

遠い国へ  
 江戸時代の初め、港を  
 出航したサン・ファン・バウ  
 ティスタ号は、政宗の志を  
 乗せた船。およそ7年に  
 わたる旅の記録や資料は  
 多くのことを伝えてくれる。  
 5年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校4年書きぞめ手本

〇ねらい 「行の中心」や「漢字とかなの大きさ」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
 〇手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不許複製

どんと祭は、正月かざりを  
 集めてもやす、昔から続く  
 行事。人々のねがいをもせて、  
 けむりが天にのぼって行く。  
 四年

☆下欄の( )は平成29年手本の字数

# 家族・友達との関わり

# 伝統文化 地域の歴史

# 伝統文化 中学校との架け橋

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校3年書きぞめ手本

①ねらい 「文字の形」や「文字の組み立て方」に気を付けて書きましょう。  
②手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不詳複製

友だちと手をつないで、  
走りました。はずむ足音。  
空が、きらきら光りま  
した。

三年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校1年書きぞめ手本

①ねらい 「文字のかたち」と「ひつじめん」に気を付けて、ていねいにかきましょう。  
②手本とよく比べて、れんしゅうしましょう。

不詳複製

はつ日がのぼる。み  
んなえがおでおめで  
とう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校5年書きぞめ手本

①ねらい 「文字の形」や「横書きの書き方」に気を付けて書きましょう。  
②手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不詳複製

遠い国へ  
江戸時代の初め、港を  
出航したサン・ファン・バウ  
ティスタ号は、政宗の志を  
乗せた船。およそ7年に  
わたる旅の記録や資料は  
多くのことを伝えてくれる。

5年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校4年書きぞめ手本

①ねらい 「行の中心」や「漢字とかなの大きさ」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
②手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不詳複製

どんと祭は、正月かざりを  
集めてもやす、昔から続く  
行事。人々のねがいをもせて、  
けむりが天にのぼって行く。

4年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校2年書きぞめ手本

①ねらい 「文字の形」や「文字の中心」に気を付けて、ていねいに書きましょう。  
②手本とよく比べて、れんしゅうしましょう。

不詳複製

「七草がゆ」をたべると、  
元気にすごせると言わ  
れています。

二年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校6年書きぞめ手本

①ねらい 「文字の大きさ」や「配列」、「文字の形」に気を付けて書きましょう。  
②手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましょう。

不詳複製

山深み春とも知らぬ松の戸に  
ただえかかると雪の玉水  
山が深いので、春になったと気付か  
ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ  
にかかっている宝石のような雪解け  
の水よ。

六年

「文字のかたち」と「ひつじゅん」に気を付けて、ていねいに書きましよう。

( 校 名 印 )

はつ日がのぼる。み  
んなえがおでおめで  
とう。

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校1年書きぞめ手本

●ねらい 「文字のかたち」と「ひつじゅん」に気を付けて、ていねいにかきましよう。

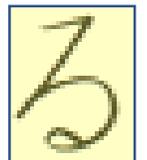
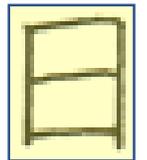
○手本とよくくらべて、れんしゅうましよう。

不許複製



文字のかたち

どんなかたちになっているかよくみてかく。



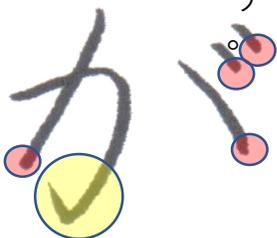
文字の形 || 文字の外形

外形に気をつけて書くとき、字の形が整う。



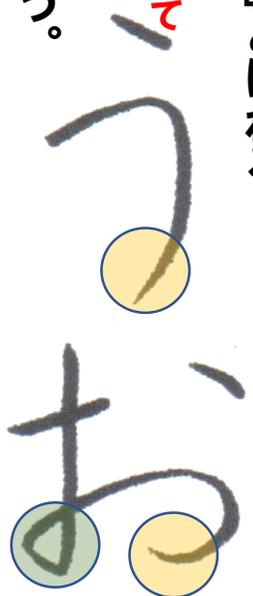
とめ 「㇀」と「㇁」。

終筆の基本は「とめ」



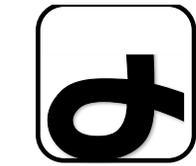
はね とまってるから「スワッシュ」とはなる。

「はね」の方向は次の画に向かって



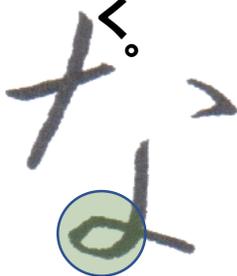
はらい 「スワッシュ」とはなる。

次の画に向かって 次の文字に向かって



むすび むすびのかたちをよくみてかく。

「㇀」「㇁」と「㇂」のの違い



# 1年生の名前の位置

氏名が短いときは下げて良い。

姓と名を離してもよい。

長くてもできるだけこの枠の中に書く。

とう。 はつ日がおぼるみ

とう。 はつ日がおぼるみ

とう。 はつ日がおぼるみ

**氏名の下ラインは本文より下がらないように。**

# 硬筆二年手本

( 校 名 印 )

「文字のかたち」と「ひつじゅん」に気を付けて、ていねいに書きましょう。

「七草がゆ」をたべると、  
元気にすごせると言わ  
れています。

二年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年 小学校2年書きぞめ手本

◎ねらい 「文字の形」や「文字の中心」に気をつけて、ていねいに書きましょう。

○手本とよくくらべて、れんしゅうしましょう。

文字の形	文字のかたち	文字の中心	文字の大きさ	文字のつぎ方	文字の中心	文字の大きさ
ひつじゅん	ひつじゅん	ひつじゅん	ひつじゅん	ひつじゅん	ひつじゅん	ひつじゅん
西の方こう	西の方こう	西の方こう	西の方こう	西の方こう	西の方こう	西の方こう

不計複製



文字の形

どんな形になっているかよく見て書く。

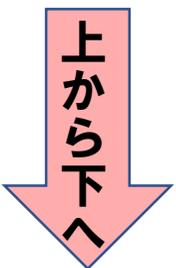
七  
草  
が  
ゆ  
を  
た  
べ  
る

外形に気を付けて書くと字の形が整う。



ひつじゅん

かん字を正しい「ひつじゅん」で書く。



言

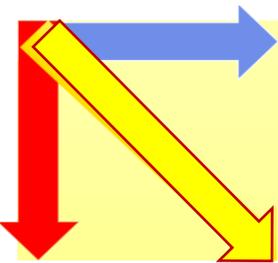
左から右へ

元

横から  
たてへ

七

筆順の原則

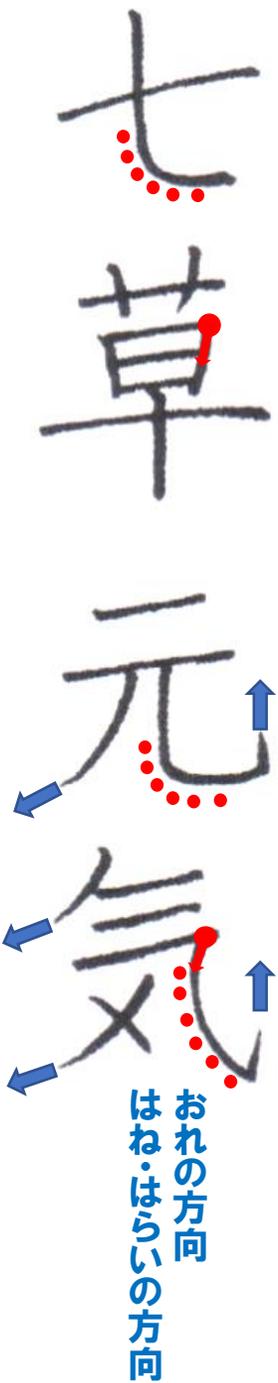


正しい筆順で書くと、字形を整えやすい。  
空書きで筆順を確認しましょう。

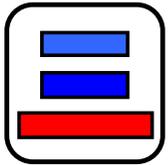


画の方こう

「七草」「元気」の画の方こうに気をつけて書く。

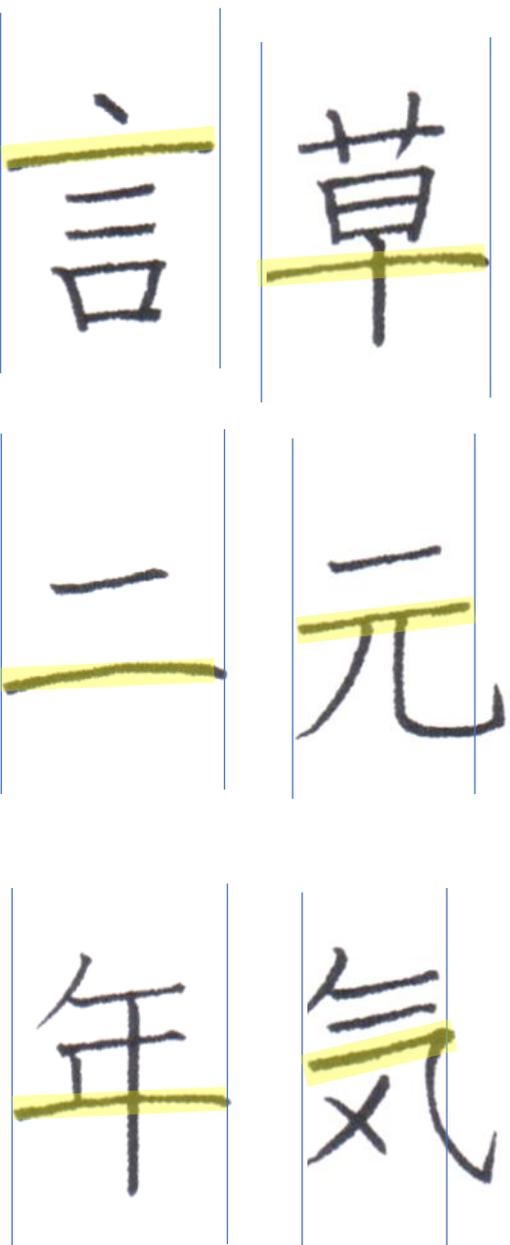


おれの方  
はねはらいの方

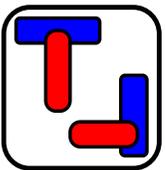


画の長さ

「草」「元気」「言」「二」年の画の長さに気をつけて書く。

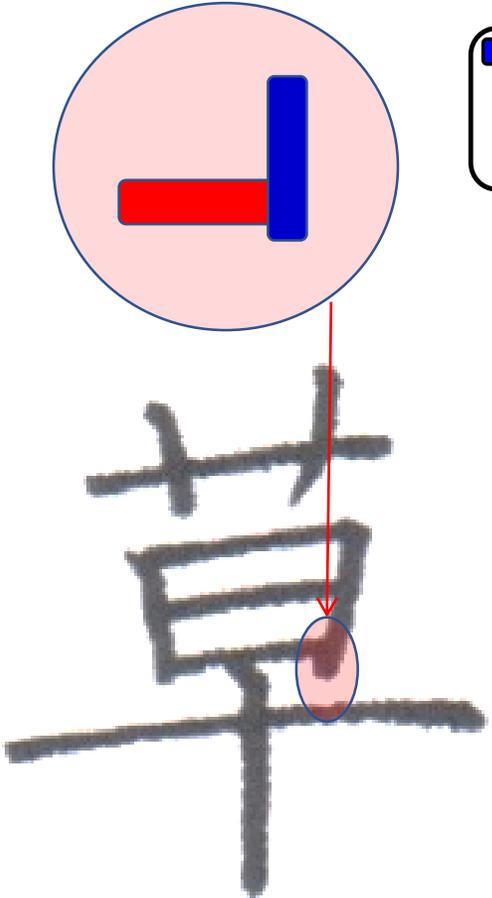


「横画」が、いくつか並ぶときは、  
一画だけ長く書くと、字の形が整う。

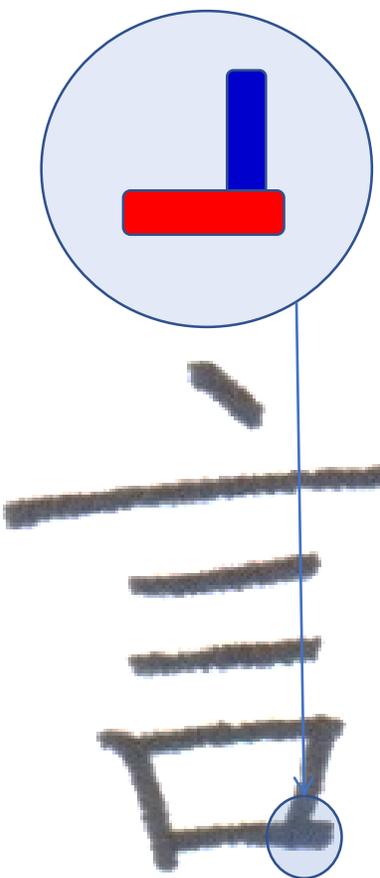


画のつき方

「草」「言」の画のつき方に気をつけて書く。



「折れ」と「横画」を  
続けて書かないとき。  
「折れ」の終筆が出る。



「折れ」の後、すぐ  
「横画」を書くとき。  
「横画」の終筆が出る。

「文字の形」や「文字の組み立て方」に  
気をつけて書きましよう。

( 校 名 印 )

友だちと手をつないで、  
走りました。はずむ足音。  
空が、きらきら光りま  
した。

三年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年 小学校3年書きぞめ手本

◎ねらい 「文字の形」や「文字の組み立て方」に気をつけて書きましよう。

○手本とよくくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましよう。

不許複製



文字の形

どんな形になっているかよく見て書く。



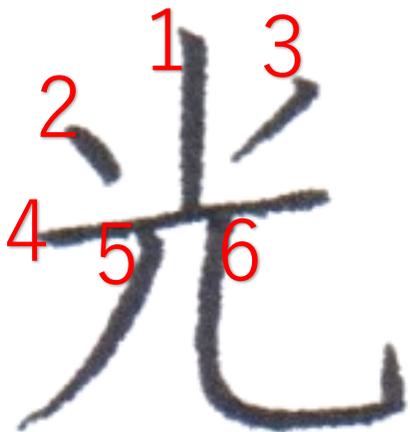
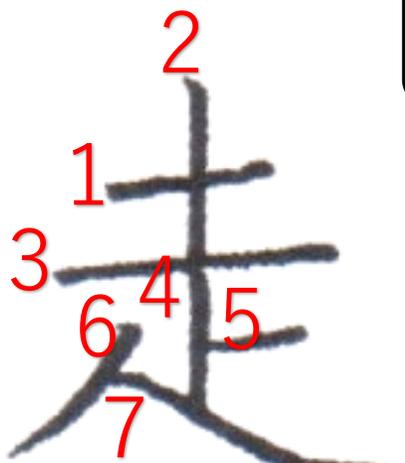
文字の形 || 文字の外形

外形に気を付けて書くと字の形が整う。



ひつじゅん

漢字を正しいひつじゅんで書く。



正しい筆順で書くと、字形を整えやすい。  
空書きで筆順を確認しましよう。



画の方向

「友」「手」「走」「足」「光」の画の方向に気をつけて書く。

「はらい」の方向

友 手 走 足 光

「おれ」の方向

友 足 手 光

「そり」の方向

手 光

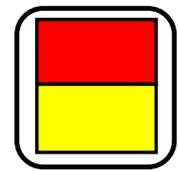
「はね」の方向

手 光

「点」の方向

光

点画の方向に気を付けて書くと字形を整う。



文字の組み立て方

上下の組み立て方に気をつけて「音」「空」を書く。

穴

工

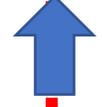
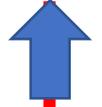
穴 工

立

日

立 日

上下の部分の中心をそろえて書く。



「行の中心」と「漢字とかなの大きさ」に気を付けて書きましよう。

( 校 名 印 )

どんと祭は、正月かざりを  
集めてもやす、昔から続く  
行事。人々のねがいのをせて、  
けむりが天にのぼって行く。

四年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

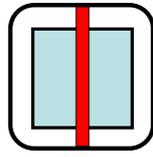
令和3年小学校4年書きぞめ手本

◎ねらい 「行の中心」や「漢字とかなの大きさ」、「文字の形」に気を付けて書きましよう。  
○手本とよくくらべて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習しましよう。

<input type="checkbox"/>	文字の中心	文字の中心を見付けてそろえる。	<input type="checkbox"/>	文字の形	文字の形を考えて書く。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	漢字とかなの大きさ	漢字とかな、漢字うし、かなどうしの大きさをらがいに気を付けて書く。	<input type="checkbox"/>	文字の組み立て方	文字の組み立て方に気を付けて「祭」「集」「昔」「続」「行」を書く。	<input type="checkbox"/>

文字の中心

文字の中心を見付けてそろえる。



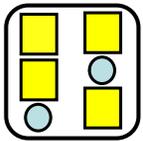
どんと祭は、正月かざりを  
集めてもやす、昔から続く  
行事。人々のねがいのをせて、  
けむりが天にのぼって行く。

四年

なぞり書きの中心線を参考に↓文字の中心線を見付ける

一文字一文字を整える

← 行の中心にそろえる



漢字とかなの大きさ

漢字とかな、漢字どうし、かなどうしの大きさのちがいに気を付けて書く。

どんと祭は、正月かざり

漢字は大きく 平仮名は小さく



どんと祭は、正月かざり

漢字と漢字どうし、  
仮名どうしの大きさの違いにも注意



文字の形 文字の形を考えて書く。

とん 祭は、正月かざり

文字の形 || 文字の外形

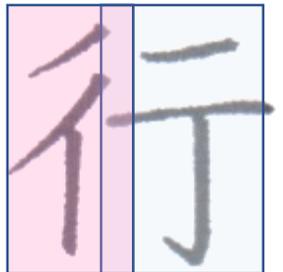
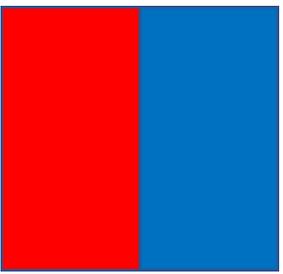
外形に気を付けて書くと字形が整う。



文字の組み立て方

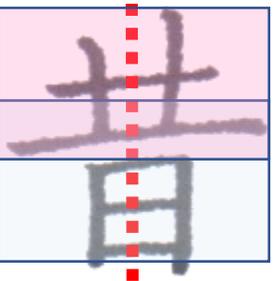
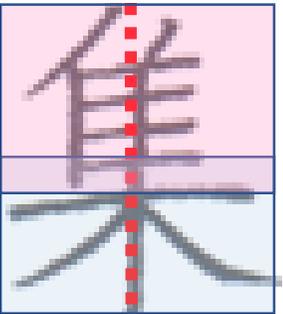
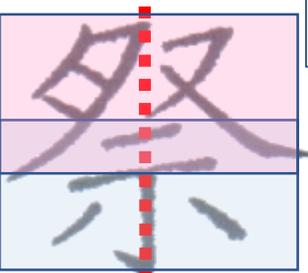
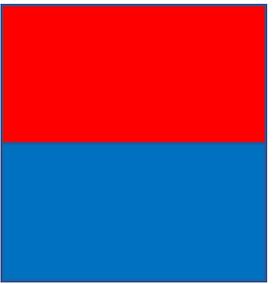
文字の組み立て方に気を付けて  
「祭」「集」「昔」「続」「行」書く。

左右の組み立て方



○正方形のますに  
収まるように形を  
変えて、部分と部  
分は接しないよう  
に近付ける。

上下の組み立て方



上下の部分の中心をそろえて書く。

「文字の形」と「横書きの書き方」に  
気をつけて書きましよう。

( 校 名 印 )

遠い国へ

江戸時代の初め、港を  
出航したサン・ファン・パウ  
ティスタ号は、政宗の志を  
乗せた船。およそ7年に  
わたる旅の記録や資料は  
多くのことを伝えてくれる。

5年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年 小学校5年書きぞめ手本

- ◎ねらい 「文字の形」や「横書きの書き方」に気を付けて書きましよう。
- 手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習ましよう。

漢字とかなの大きさ

漢字とかな、漢字どうし、かなどうしの大きさをのらぎに気を付けて書く。

配列

紙面のなまや形に合わせた文字の並び方に気を付けて書く。

字

文字の形を考えて書く。

形

文字の組み立てに気を付けて「遠い国」「江戸時代」「初港」「船」「号」「政宗」「志」「船」「旅」「記録」「資料」「多」「年」を書く。

組み立て方

### 横書きの書き方

- ①文字の中心をそろえる。
- ②罫線の下にそろえる。



今回の手本は、②をベースに作成した。「遠」「号」「宗」「乗」「旅」「料」「多」「年」などのように、下に縦画などが突き出るものは、縦画を少し下に出るよう「う」に作成した。」

遠い国へ

江戸時代の初め、港を  
出航したサン・ファン・パウ  
ティスタ号は、政宗の志を  
乗せた船。およそ7年に  
わたる旅の記録や資料は  
多くのことを伝えてくれる。

読点「、」→「、」

5年

望ましくないが  
不可とはしない

# 江戸時代の初め

漢字は大きく  
平仮名は小さく

# 江戸時代の初め

画数少：小さめ

画数多：大きめ

出航

「はらい」のある  
漢字は大きめ

周りが直線で囲まれた  
漢字は大きくなる

遠い国へ

漢字とかなの大きさ

漢字とかな、漢字どうし、かなどうし  
の大きさのちがいに気を付けて書く。

- ① 字間を均等にする。
- ② 罫線の下でそろえる。
- ③ 行間を均等にする。
- ④ 用紙全体との関係から考えられる文字の位置、字間、行間などの効果的な在り方を工夫する。

遠い国へ

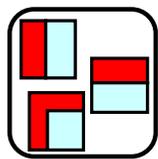
江戸時代の初め、港を出航したサン・ファン・バウティスタ号は、政宗の志を乗せた船。およそ7年にわたる旅の記録や資料は多くのことを伝えてくれる。

5年

配列

紙面の広さや形に合わせた文字の並べ方に気を付けて書く。

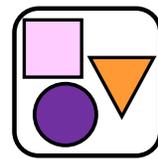
遠い国へ



文字の組み立て方

文字の組み立てに気を付けて「遠」「国」「江」「時」「代」「初」「港」「航」「号」「政」「宗」「志」「船」「旅」「記」「録」「資」「料」「多」「伝」を書く。

遠い国へ



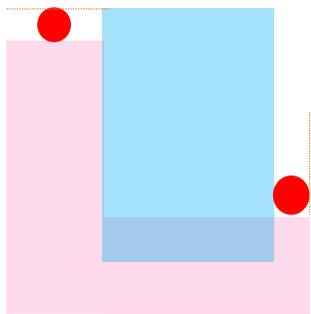
文字の形

文字の形を考えて書く。

江戸時代の初め

文字の形＝文字の外形

外形に気を付けて書くと字形が整う



江戸時代の初め、港を

出航したサン・ファン・バウ

ティスタ号は、政宗の志を

乗せた船。およそ7年に

わたる旅の記録や資料は

多くのことを伝えてくれる。

# 硬筆六年手本

「文字の大きさ」と「配列」、「字形」に気をつけて書きましよう。

（ 校 名 印 ）

式子内親王の和歌

山深み春とも知らぬ松の戸に

たえだえかかる雪の玉水

山が深いので、春になったと気付か

ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ

にかかっている宝石のような雪解け

の水よ。

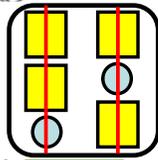
六年

宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

令和3年小学校6年書きぞめ手本

◎ねらい 「文字の大きさ」や「配列」、「文字の形」に気を付けて書きましよう。  
○手本とよく比べて、どこをどのように書いたらよいかを考えて練習ましよう。

不許複製



配列

紙面の広さや形に合わせた文字の並べ方を付けて書く。

式子内親王の和歌

山深み春とも知らぬ松の戸に

たえだえかかる雪の玉水

山が深いので、春になったと気付か

ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ

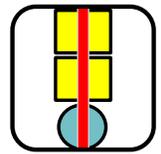
にかかっている宝石のような雪解け

の水よ。

六年

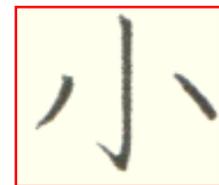
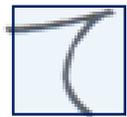
宮城県連合小・中学校教育研究会書写部会

- ① 字間を均等にする。
- ② 行間を均等にする。
- ③ 用紙全体との関係から考えられる文字の位置、字間、行間などの効果的な在り方を工夫する。



### 漢字とかなの大きさ

漢字とかな、漢字どうし、かなどうしの大きさのちがいに気を付けて書く。

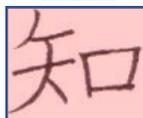
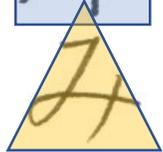
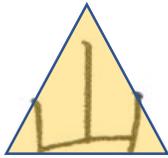


○並べたときに読みやすい文字列になるように構成要素が少ない文字は小さくなる。



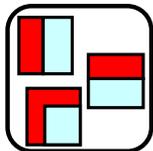
### 文字の形

文字の形を考えて書く。



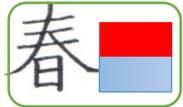
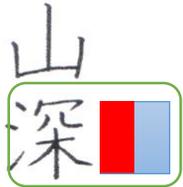
### 文字の形⇨文字の外形

外形に気を付けて書くと字形が整う。

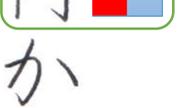


### 文字の組み立て方

文字の組み立てに気を付けて「深」「春」「知」「松」「雪」「気」「屋」「宝」「解」を書く。



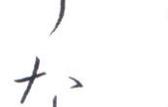
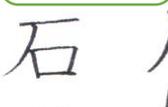
たえだえかかる雪の玉水



ない小屋



にかかっている



の水よ。





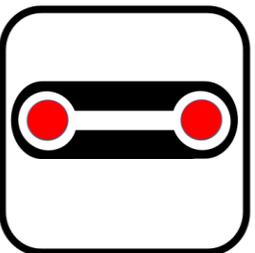
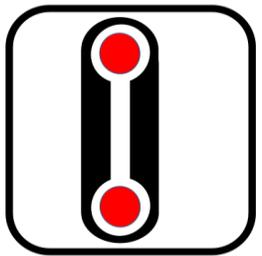
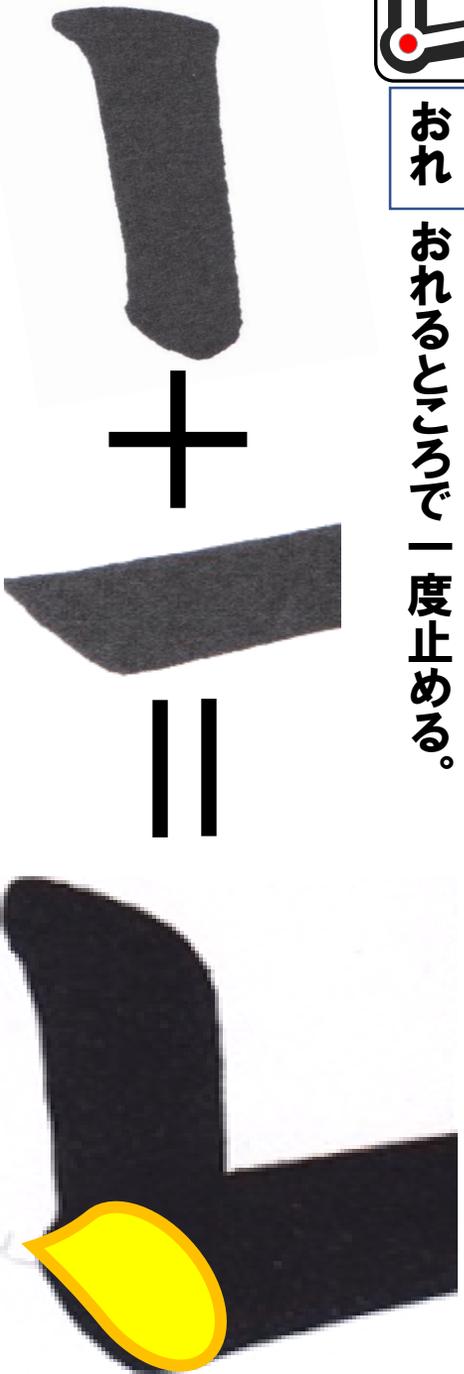
止め

筆を止めて、ほ先の方へ少しおし上げ、ゆっくりとはなす。



おれ

おれるとこで一度止める。

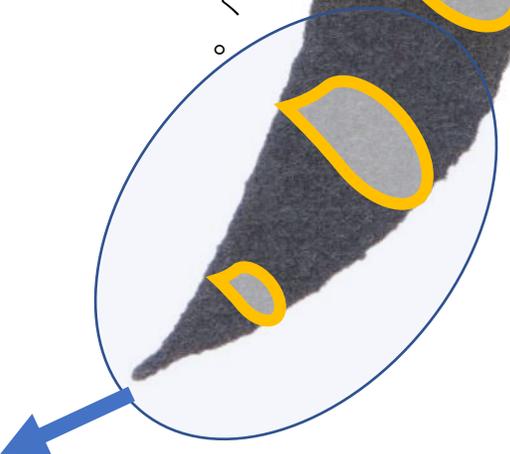


はらい

だんだん力を弱めていき、ほ先をまとめながらゆっくりとはらう。



力の入れ方(筆圧)の変化に気を付けて書く。



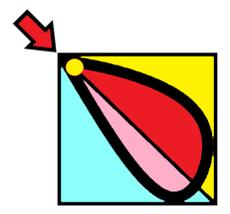
「ほ先の向き」と「力の入れ方」に  
気を付けて書きましょう。

令和二年 小学校四年書きぞめ手本

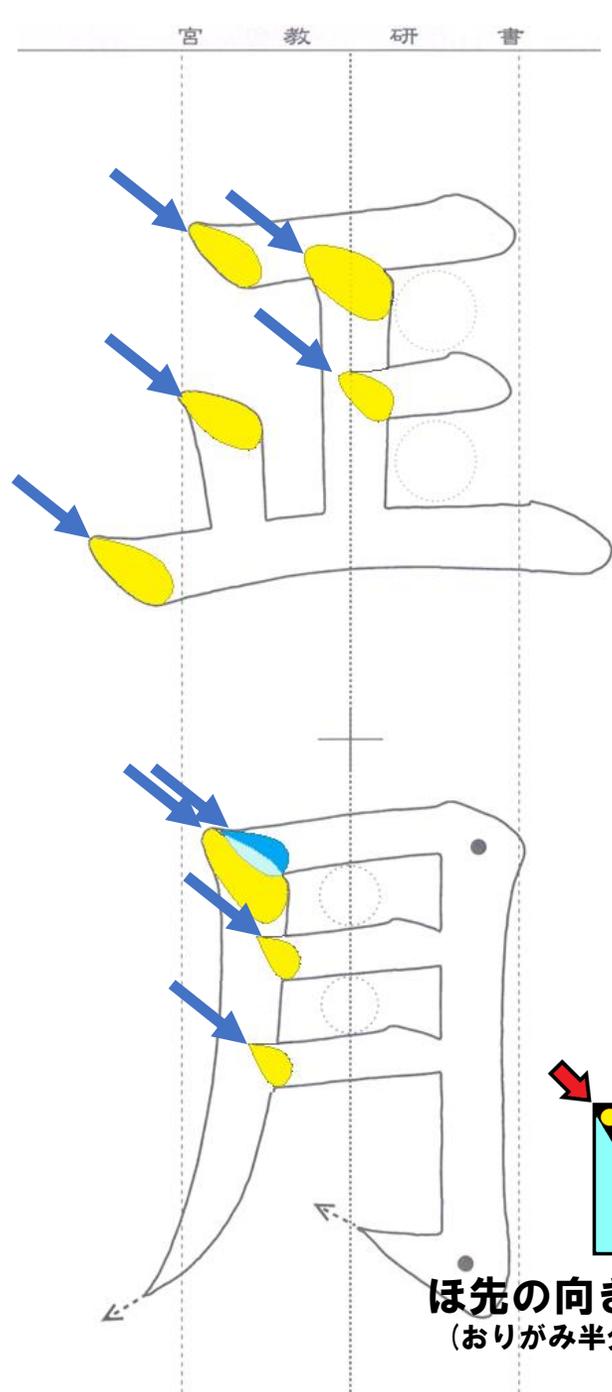


ほ先の向き

ほ先は、左ななめ上に向ける。

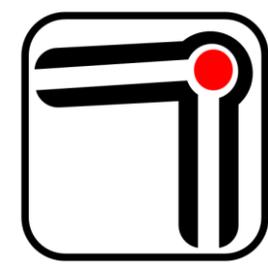
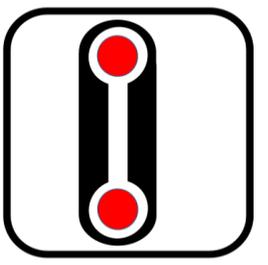
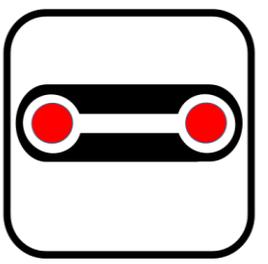
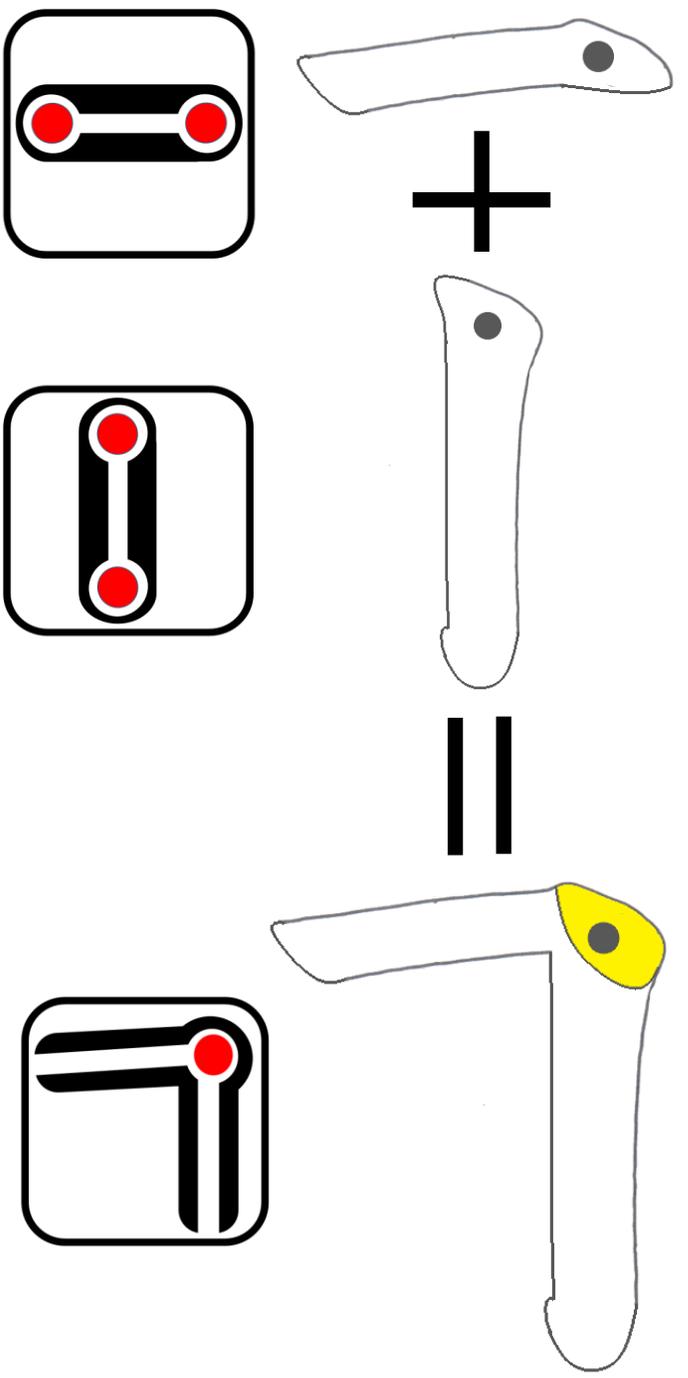


ほ先の向きは左上  
(おりがみ半分 45度)



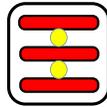
おれ

おれると、いっしょに一度止める。



正

用



画の間かく

画の間かくをそろえて書く。

月



穂先をまとめながら、  
ゆっくりはらう。



はらいの方向

左はらいの方向に気を付けて書く。

穂先は最後にはなれる。

穂先は上を通る。  
だんだん力を抜きながらはねる。

一度止めて、穂先の向きが左から上になるように穂の腹を  のように動かす。



はね

一度筆を止め、ほ先をまとめながら、ゆっくりはねる。

# 毛筆五年手本

令和二年 小学校五年書きぞめ手本

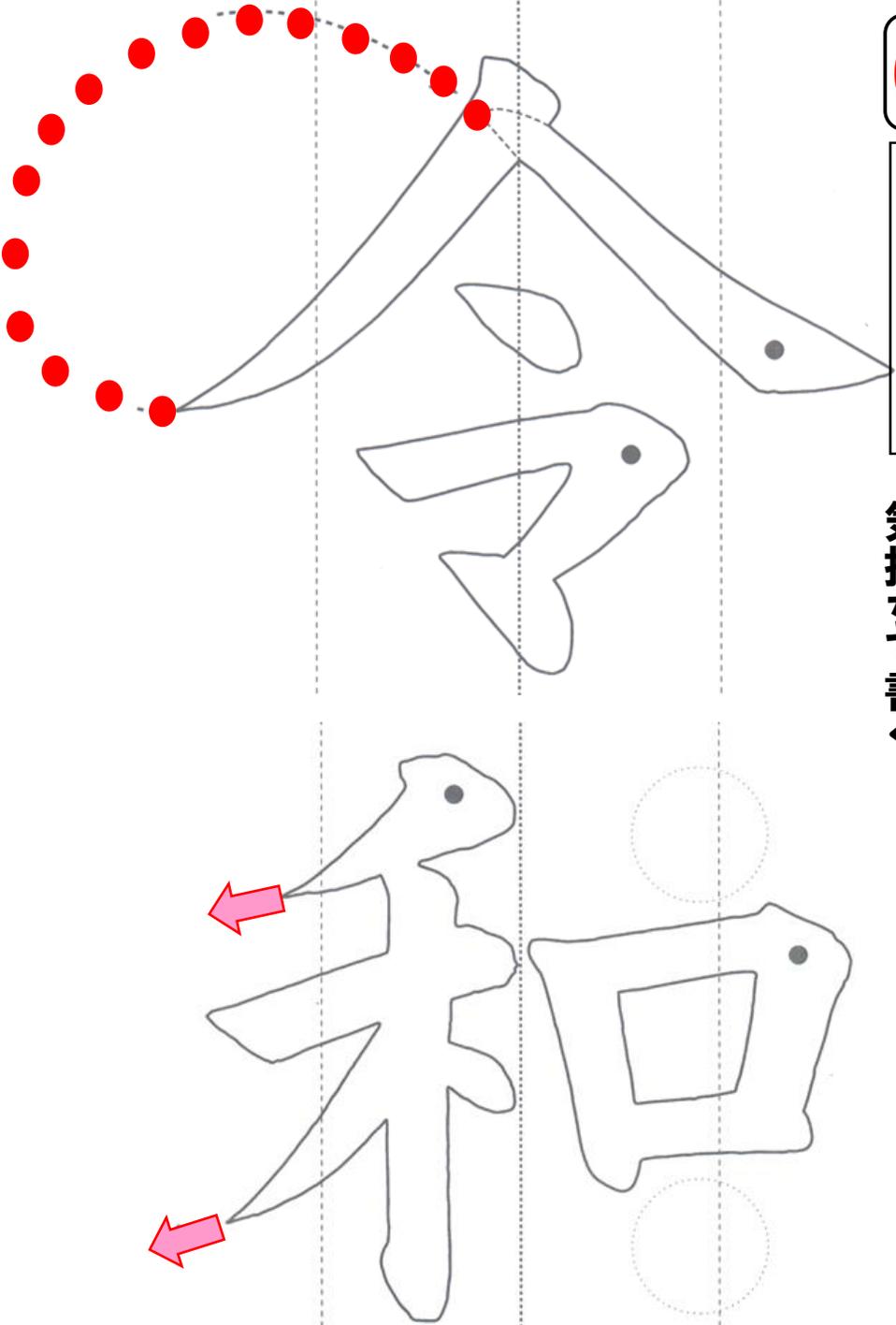
「点画のつながり」と「字形」に  
気を付けて書きましょー。

今

和

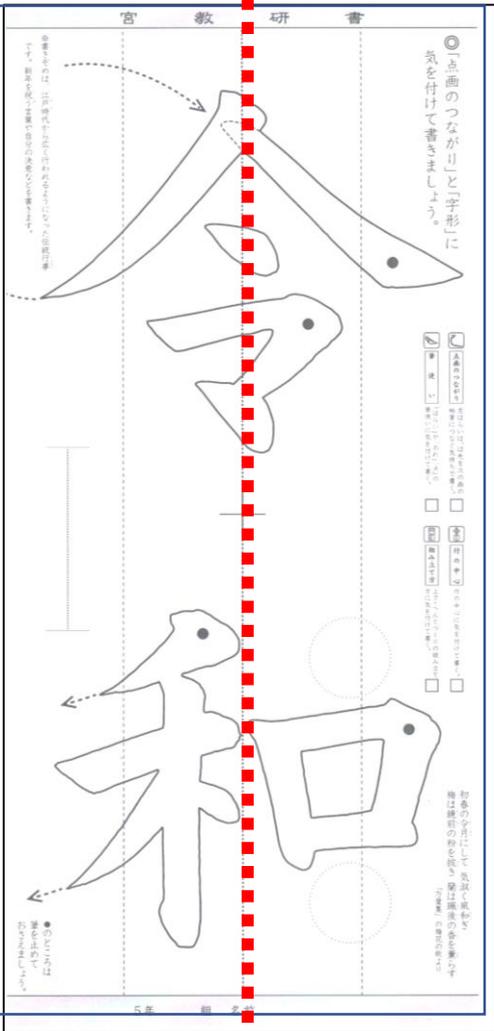
点画のつながり

左はらいは、ほ先を次の画の始筆につなぐ  
気持ちで書く。



行の中心

「行の中心」に気を付けて書く。





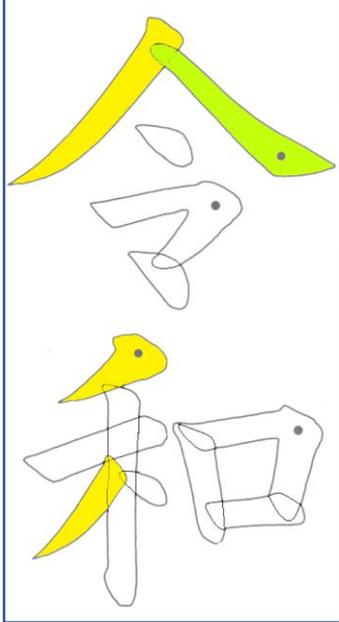
### 筆使い

「はらい」や「おれ」「点」の筆使いに気を付けて書く。



### 右はらい

軽く力を入れ、だんだん力を加えていき、筆を止め、ほ先をそろえるようにはらいましょう。



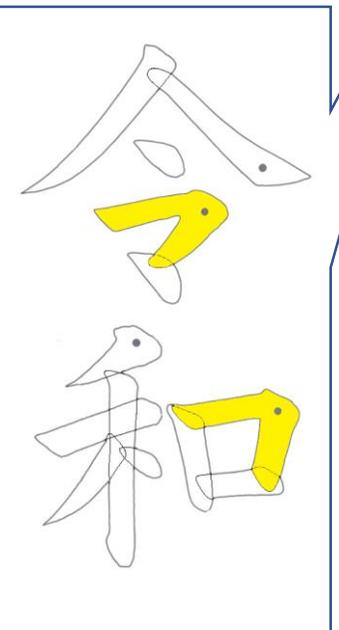
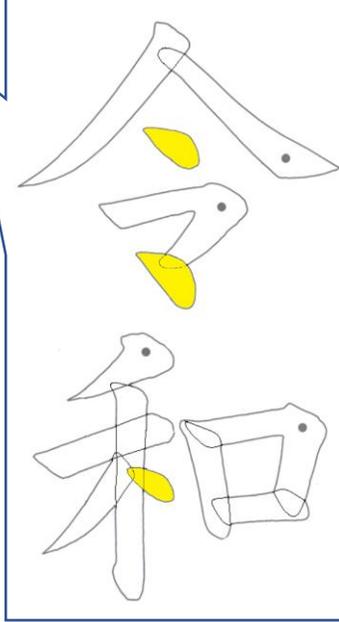
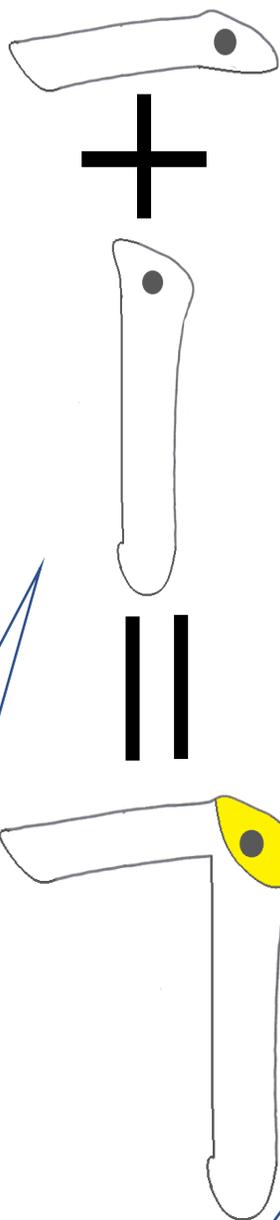
### 左はらい

だんだんと力を弱めていき、ほ先をまとめながらゆっくりはらう。



### おれ

おれるとじろで一度止める。



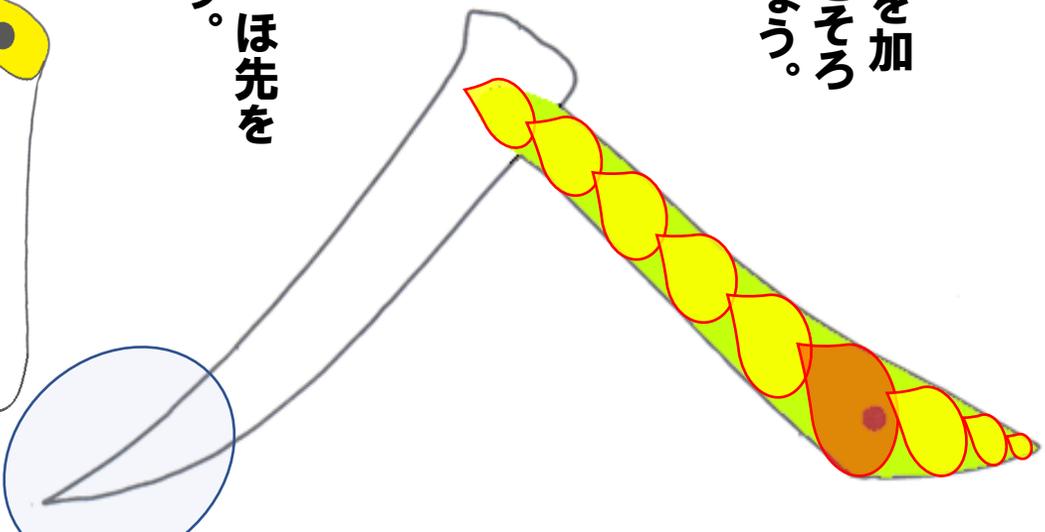
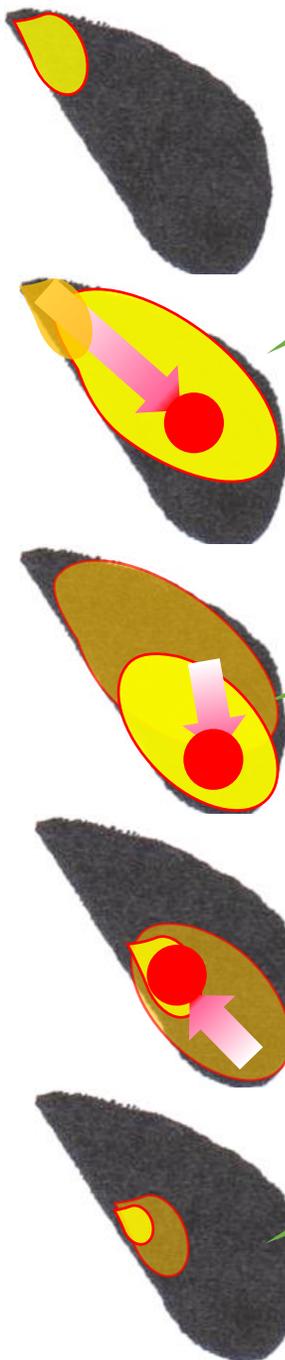
### 止め

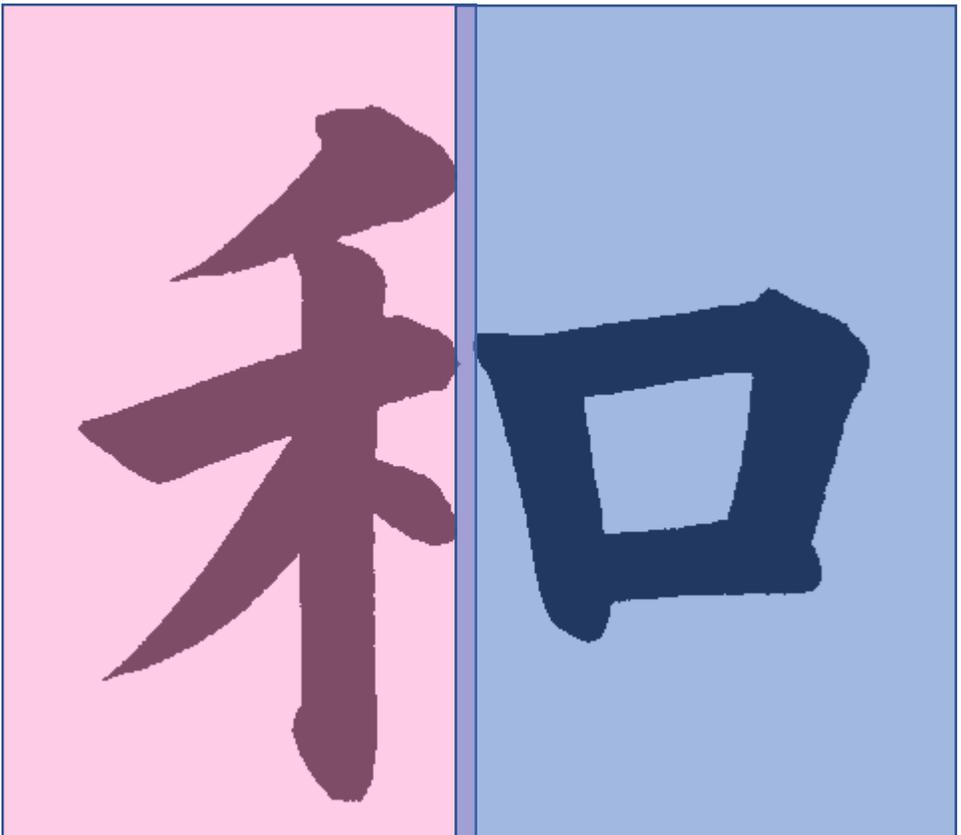
筆を止めて、ほ先の方へ少しおし上げ、ゆっくりとはなす。

穂先からそっと入り、筆の腹まで下す。

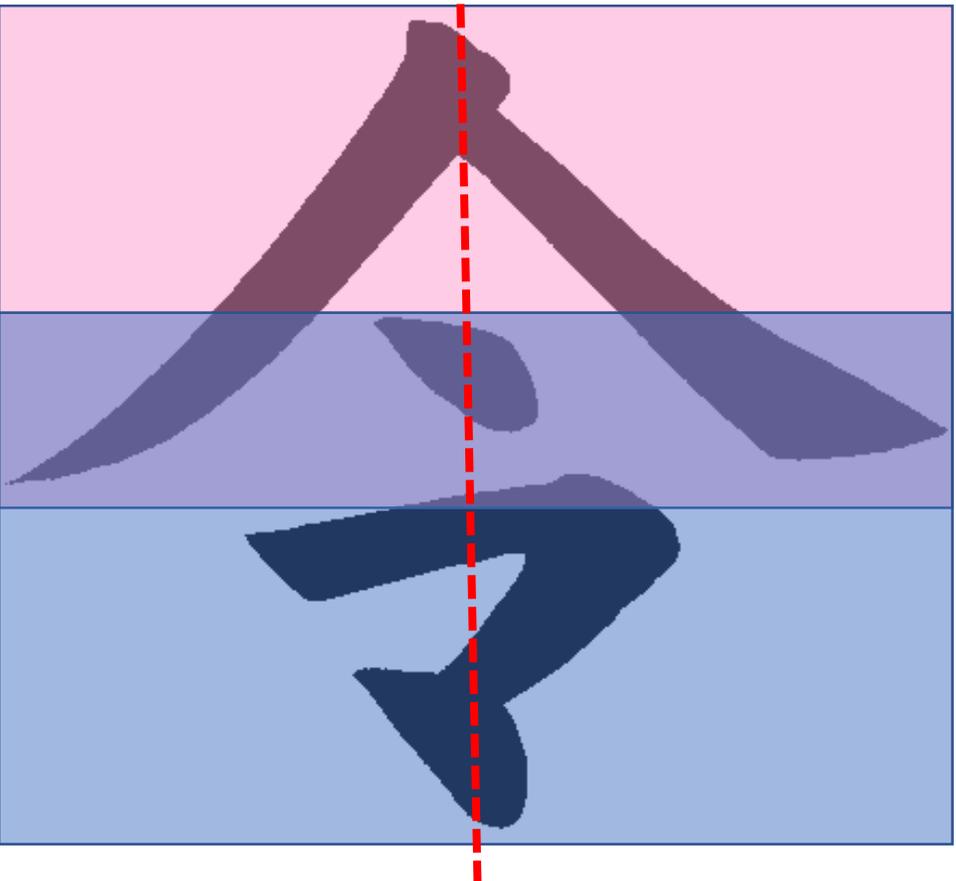
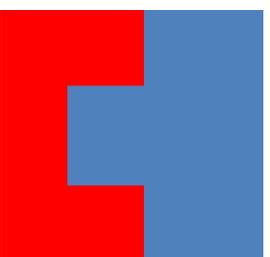
そのまま右下へ。

筆を止め、左上へ押し戻すように上げる。

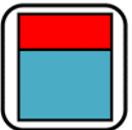




○左右の部分を  
書くときは、  
それぞれ幅を狭くして  
場所を譲り合う。



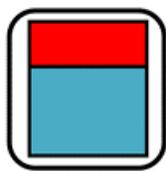
○上下の部分の中心を  
そろえて書く。



組み立て方

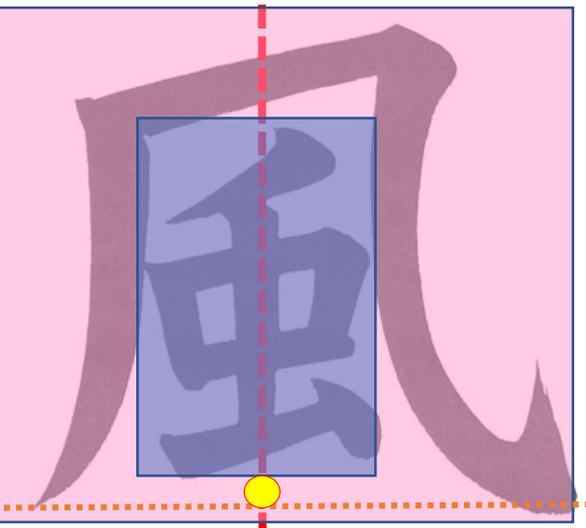
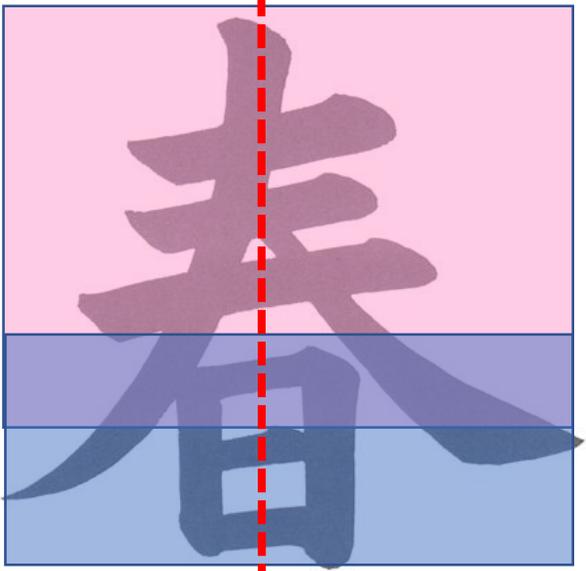
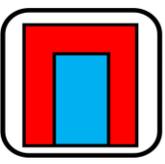
「上下」「左右」の組み立て方を  
考えて書く。





**組み立て方**

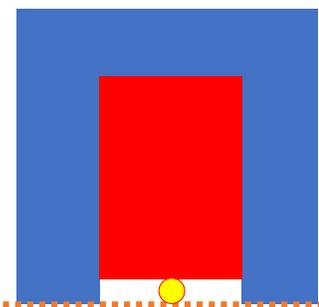
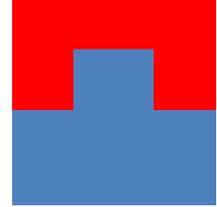
上下・かまえの組み立てに気を付けて書く。



**○上下の部分の中心を**

そろえて書く。

上下の部分を書くときは、それぞれの高さを切りつめて、場所を譲り合う。



「かまえ」のある漢字を書くときは、内側の部分を「かまえ」の中に納めるように書く。



**点画のつながり**

左はらいは、ほ先を次の画の始筆につなぐ気持ちで書く。

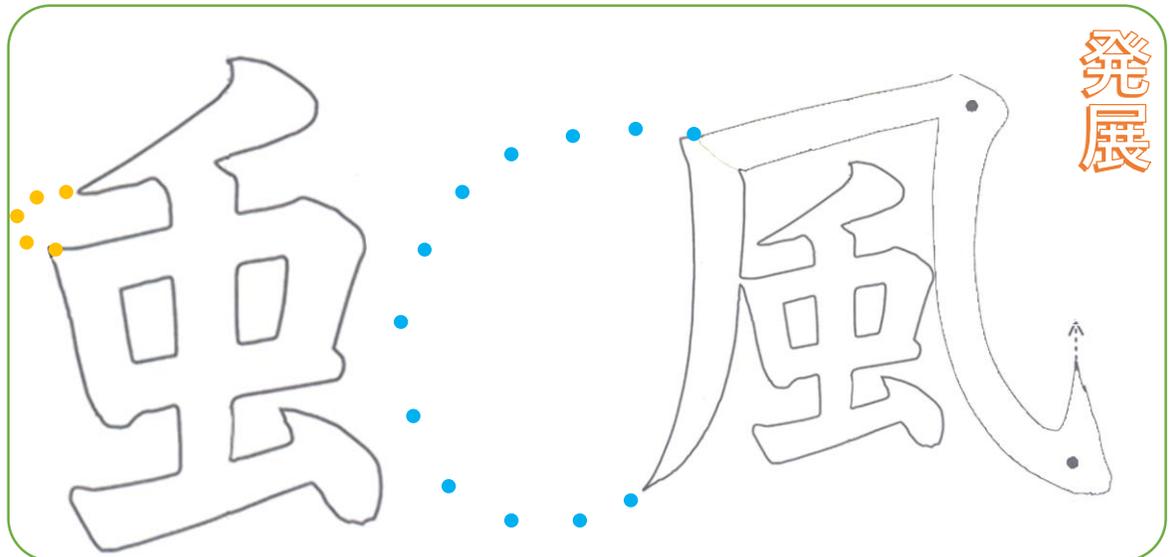


文字の組み立て方  
筆順・点画のつながり

整った字形

点画のつながり  
↓  
「左はらい」の方向

**発展**



● はみ出し ● 汚れ → 不可

山

川

まよの

正

月

正則

今

和

正則

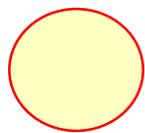
春

風

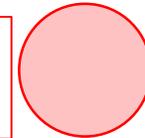
正則

戸籍通りの姓または名ではないので不可

△なし；深く接しても可



○なし；軽く接しても可



正



月



令

和



春



風



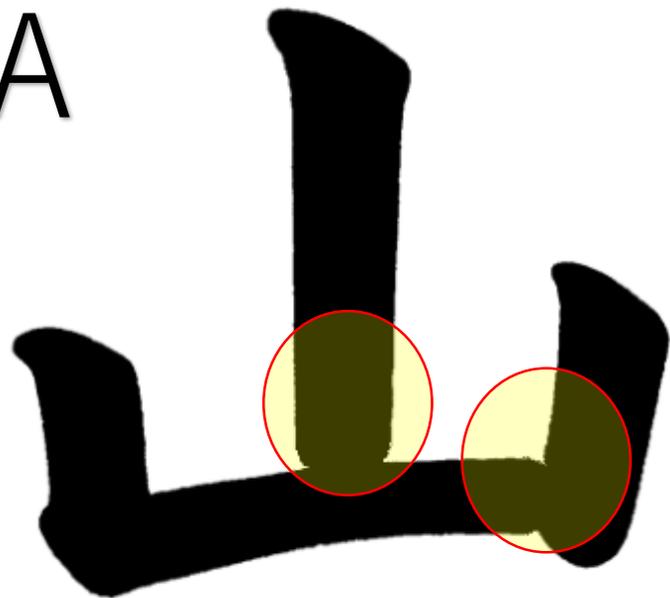
春



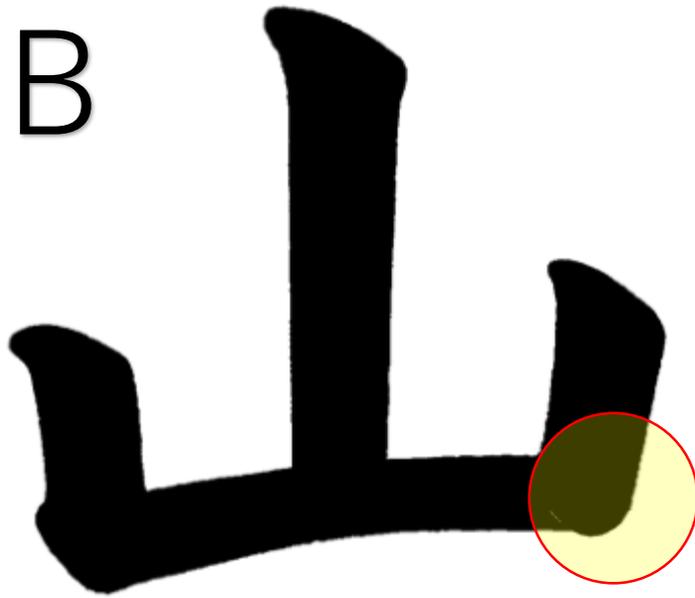
風



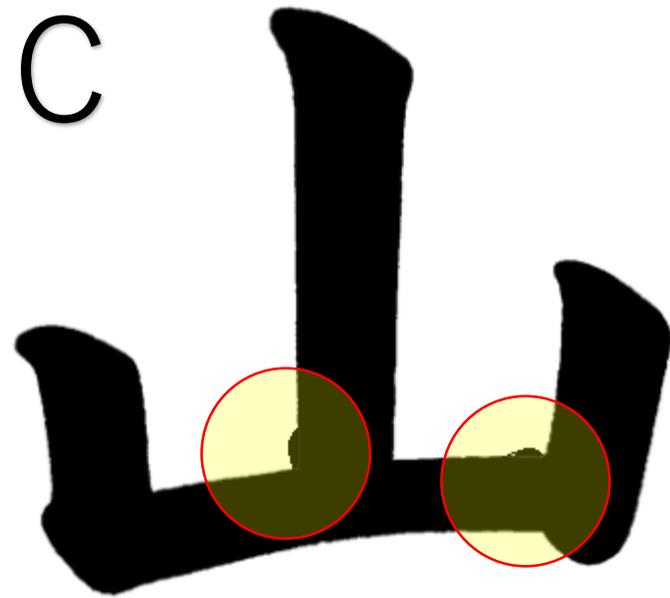
A



B



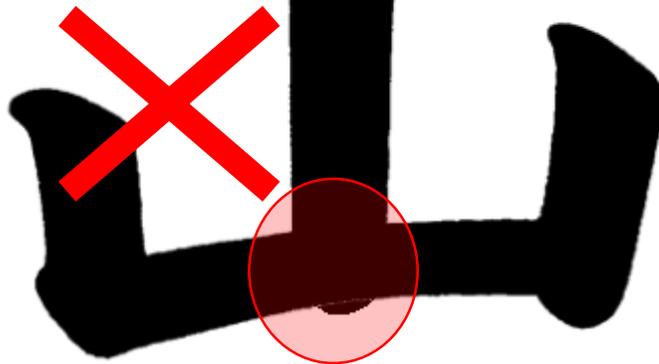
C



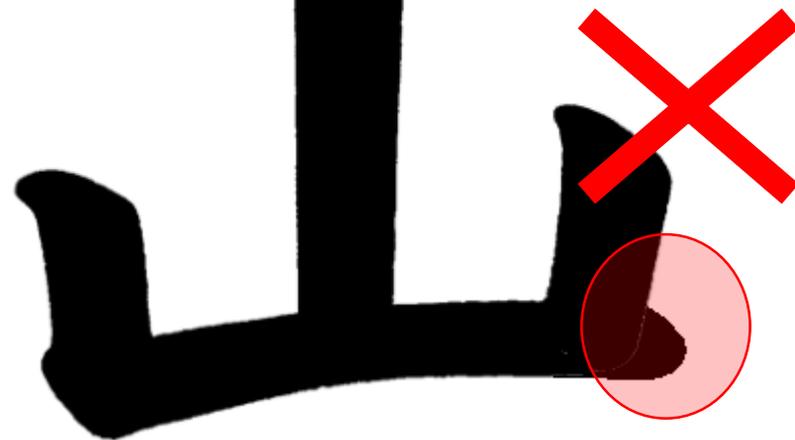
△手本通りが望ましいが  
不可にはしない。

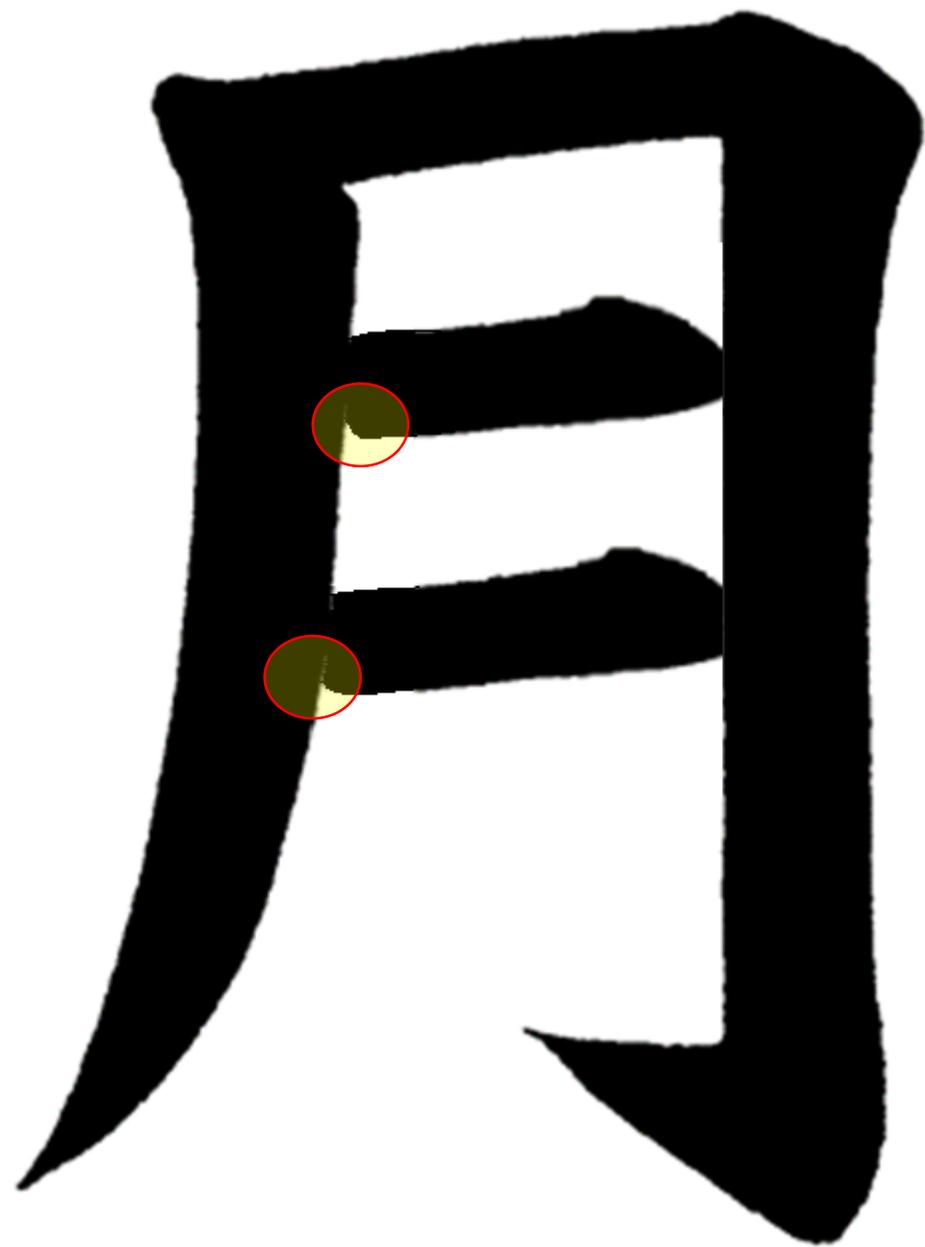
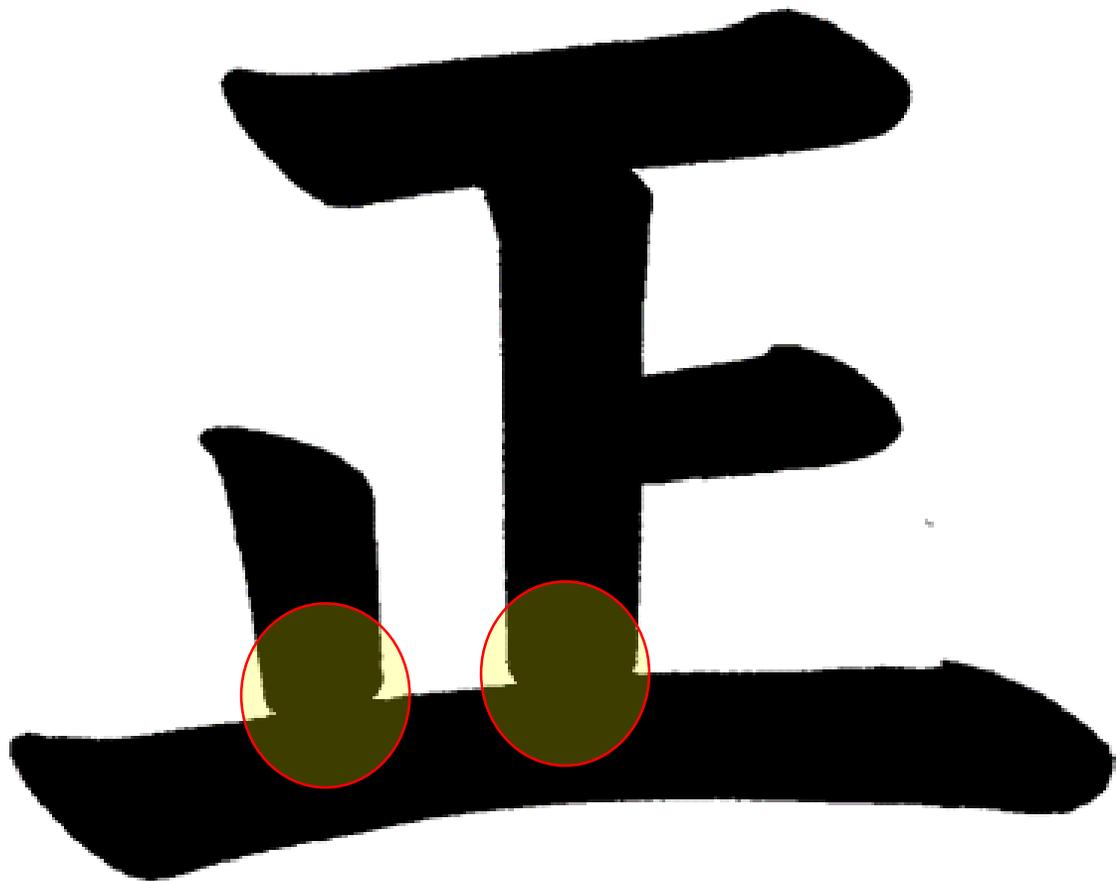
× 不可

D



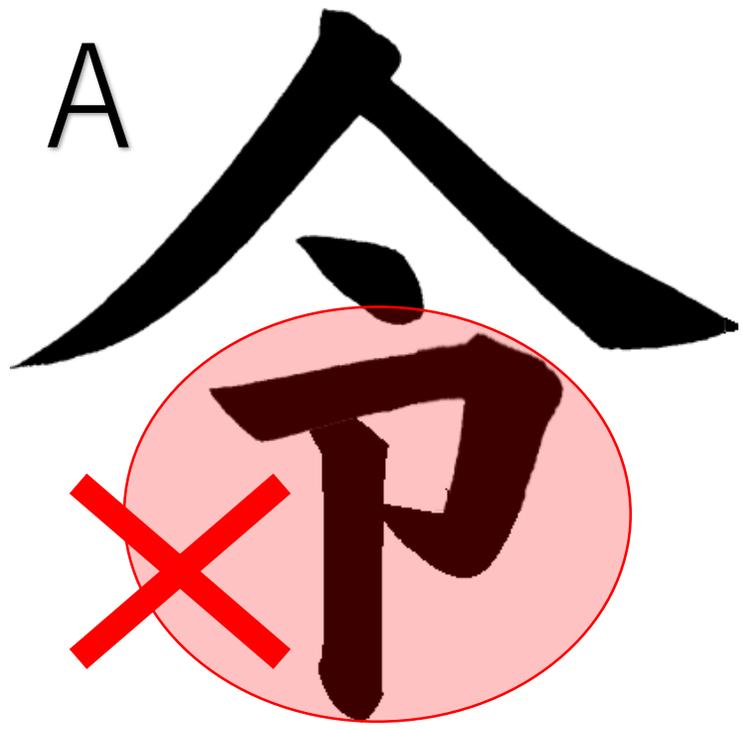
E





●△手本通りが望ましいが  
不可にはしない。

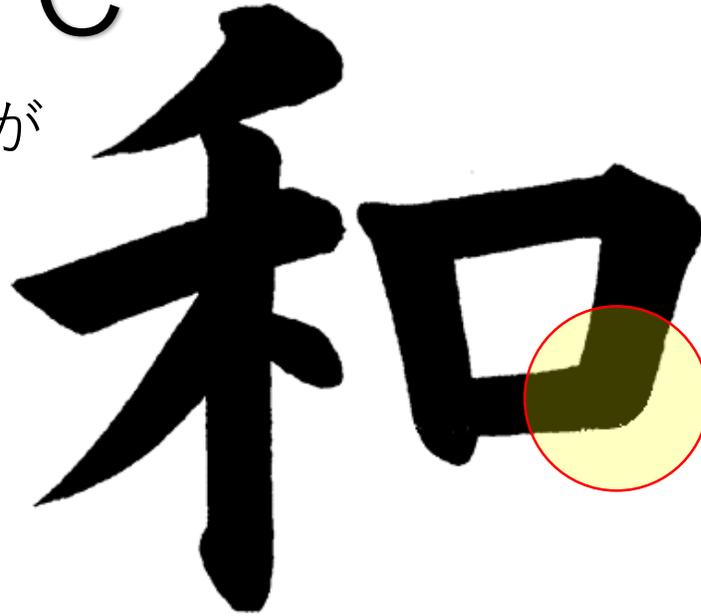
A



B



C

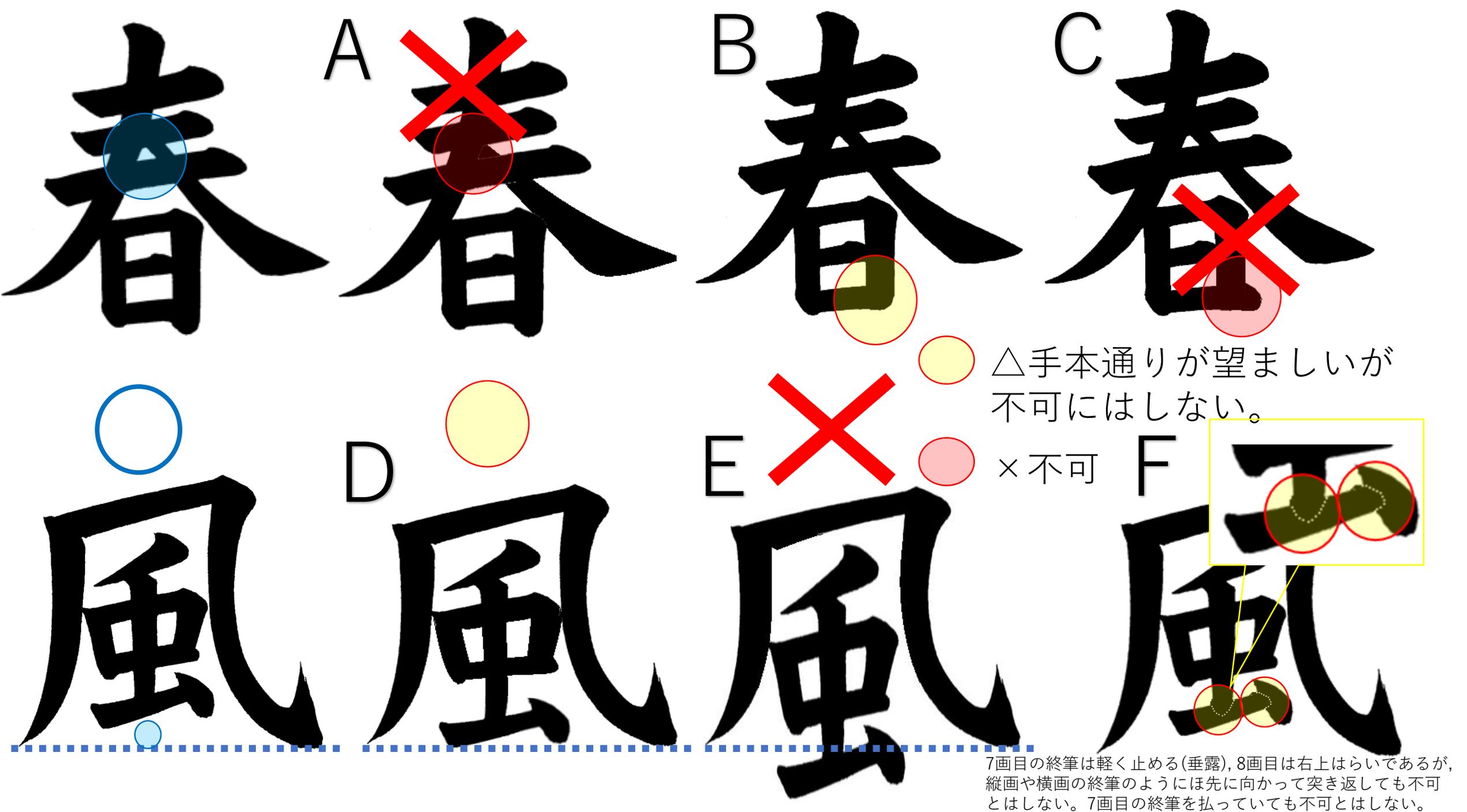


D



△手本通りが望ましいが  
不可にはしない。

× 不可



A

B

C

D

E

F

△手本通りが望ましいが不可にはしない。

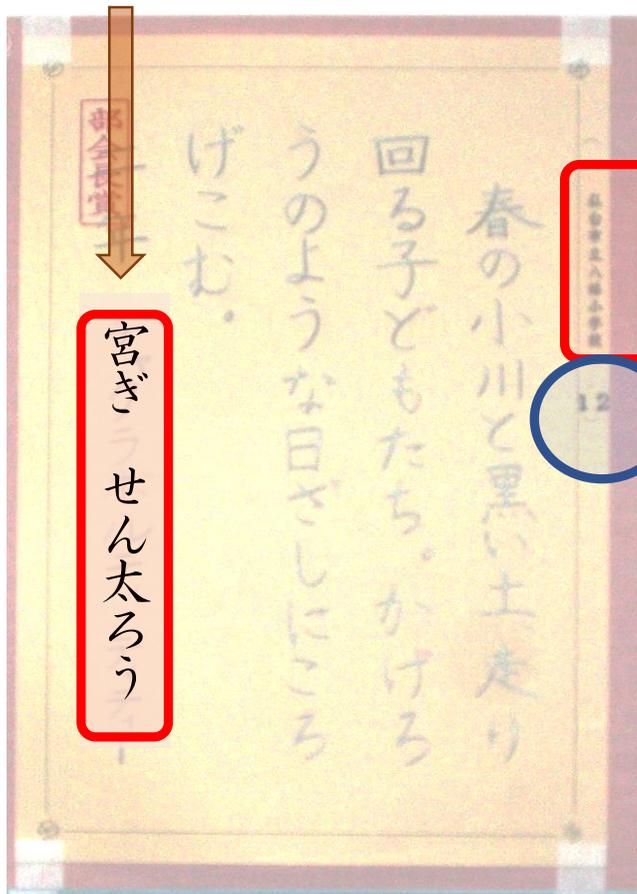
×不可

7画目の終筆は軽く止める(垂露), 8画目は右上はらいであるが, 縦画や横画の終筆のようにほ先に向かって突き返しても不可とはしない。7画目の終筆を払っていても不可とはしない。

# ☆作品の整理について

1, 2年のみ 平仮名のみ・平仮名交じり可  
3年以上は戸籍通りの氏名

用紙裏右下(枠の下)に  
鉛筆で横書きに  
戸籍通りの氏名を記入



仙台市の学校番号  
仙台市以外地区記号

戸籍通りの姓または名



学年

氏名(ゴム印可)

× 修正液訂正 × 学校番号と学年が逆のもの  
○ ○ 市立 △ 小学校長

↓ 地区の審査会止まりとなります

外国籍の場合, 1, 2年生の場合片仮名でも平仮名でも可。  
長い名前場合は, ミドルネームなどを略しても良い。  
特殊な事情がある場合は, 事務局にご相談ください。

宮城仙太郎



**我が国の伝統文化である書き初めに取り組む** ことなどを通して、  
書写の能力が生活の中の様々な行事に生きていることを実感する  
ことも大切である。

(国語科学習指導要領 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い2 内容についての配慮事項)

## 書きぞめの意義

# 手本をコピーしてはいけません



74回の伝統を誇る 書きぞめ展  
毎年2万人もの観衆を集め 宮城の冬の風物詩となっていた書きぞめ展  
コロナ禍で展覧会は開催できませんが  
子供たちの 書写力向上のために ご指導よろしく願いいたします